



教育後援会報

京都府立農芸高等学校

第40号

令和5年3月

発行 京都府立農芸高等学校 教育後援会 編集 同事務局

ごあいさつ



教育後援会長

中井 順市

ご卒業おめでとうございます。蛍雪の功成つて卒業式を迎えられることに心からお祝い申し上げます。

平成30年に改訂されました学習指導要領（農業編）では教科「農業」の指導目標として、農業や農業関連産業に関する見方・考え方を働かせ実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して農業や関連産業を通じて、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することとしています。皆さんは、どのような道に進まれようとも農業学習や学校農業クラブ活動を通じて得た科学性、社会性、指導性（三大活動目標）という武器と農業という産業が社会に果たすべき目的（食料生産、環境保全、素材生産など）や意義を学んだ若者として、自らが選んだ道において農業や農業関連産業に関する見方・考え方を働かせ仕事ができる人材として社会に貢献されることを期待しています。

去る12月3日に京都府立農芸高等学校（京都農芸）は創立40周年の記念式典を執り行いました。役員の皆さまには記念事業の計画、記念誌の編集、募金活動などに、そして、

会員の皆さまには物心両面にわたりご協力とご支援を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

京都農芸は昭和58年4月に開校しました。戦後の教育改革によって途絶えた農業に関する専門高校（単独農業高校の京都農芸）の復活でした。開校に向けて奮闘されました初代校長の中村一郎先生や京都府の農業並びに農業教育関係者にとって当に夢の実現でした。以来、京都府農業教育の唯一の専門高校として着実に歩みを進め、近年では農業の6次産業化、グローバル化、ICTを活用したスマート農業化などの学習に取り組み、北陸3県で開催された第73回日本学校農業クラブ全国大会（北陸大会）に近畿地区代表校として参加され、その成果を遺憾なく発表するまでになっています。今後ともご協力とご支援をお願い申し上げます。

現在、教育後援会役員会の中でワーキングチームを設けて、生徒の皆さまが在学中に能力を高めるための資格取得などの活動を経済面で支える奨学金制度の新設について検討を進めています。令和5年度の初めにはその概要を公表できるのではないかと考えています。ただ、資金の調達が年々難しくなってきました。会員並びに卒業生の保護者の皆さまには、会の趣旨と活動にご理解をいただき、引き続き更なるご支

援をお願いいたします。また、在校生の保護者の皆さまには他校にはない本会の支援制度を活用いただき、子供たちの高校生活が一層充実したものになるよう激励してください。

後になりましたが、昨年の5月から急遽、第五代目の会長を務めさせていただいておりますことをご報告申し上げます。今後とも会員の皆さまの後援会活動に更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、40周年を迎え京都府立高等学校の農業教育の中核校としてはばたき続ける「京都農芸」に大きなご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

創立40周年 農芸の新しい歴史を刻め・目指せ

Next Stage!!

校長 長谷川 清隆



教育後援会の会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

上げます。日頃は、本校教育の推進に温かいご支援を賜り、心から御礼申し上げます。
農芸高校創立40周年記念事業

第40回農芸祭報告

に係わりましては、教育後援会の皆様より多くのご寄付やお心遣いを頂戴し、誠にありがとうございます。事業につきましては、12月3日に創立記念式典、記念誌発行等を終え、年度末の事業終了に向け、実行委員の皆様とともに取り組みを進めて参ります。

さて、令和4年度は、これら創立記念事業をはじめ、コロナ禍ではありま

したが、感染対策と併行し、10月下旬農業クラブ全国大会北陸大会への参加、11月2日には6月から延期した体育祭を行いました。また、11月19日には3年ぶりとなる第40回農芸祭を実施するとともに、12月には2年生の修学旅行（熊本、鹿児島）を実施することができました。

また、3年生の進路達成の状況とと

新型コロナウイルスの影響で、開校以来途切れることなく続いてきた農芸祭を2年間中止としました。本年度は、本校にとって創立40周年の節目の年となり、行動制限も出されていない状況下で、何とか農芸祭を復活させたいという思いで、農業クラブ本部役員の生徒とともに準備に取りかかりました。

11月11日（金）には、農芸祭前日祭を農業クラブ本部役員の企画で実施しました。農芸祭に向けて士気を上げるため、農業や所属するコースでの学習に関するクイズ大会を行い、最後はジャンケン大会で盛り上がり、クイズやジャンケン大会の賞品として各コースの生産物を持ち帰りました。クイズ大会では、東京農業大学出身の教員による青山ほとり（大根踊り）を披露するなど、教職員も農芸祭を盛り上げるために一役買いました。

農芸祭当日、11月19日（土）は天候にも恵まれ、「Nogai Festival is back」新たな挑戦さらなる飛翔」のスローガンのもと、約1,600人の来場者を迎え、日頃の実験・実習の成果を披露することができました。コロナ禍以前は、PTA、船南同窓会、教育後援会の方々にお世話になり、カレーライスや焼きそばなどの模擬店を出店し、1日開催とし

ていた農芸祭ですが、コロナ禍で模擬店は出店できず、午前半日の開催としました。生徒たちは全学年が初めて体験する農芸祭で、来場者の多さに驚き、生徒からは「もっと多くの生産物を準備してみたいわかった」との声も聞かれました。2年間授業公開として行った農芸マルシェの経験から、農業土木コースでは建設機械操作体験や測量機器操作体験など、コースでの学習を来場者実際に体験してもらったり、造園コースではそれぞれの学年で作成した庭園を展示するなど、農場生産物の販売だけでなく、来場者に楽しんでもらえるような企画も多く見られました。

本来なら模擬店で農芸祭を盛り上げていただいている教育後援会の皆様には、受付業務をお世話になりました。本年度、全学年の生徒が初めて体験する農芸祭で「新たな挑戦」ができ、次年度以降、2,000人を超える来場者を迎えられるように「さらなる飛翔」を目指したいと思っております。

（農場部長 岸根 一宏）



もに、多くの教育成果が見受けられました。詳しくは本会報の紙面をご一読ください。

さて、創立40年となった本校は、これから農業専門高校として社会的にも充実期をむかえるべきチームとなります。生徒減少期をむかえ、志願者の募集に苦心する毎年ではありますが、農業教育の魅力だけでなく、本校の新た

京都農芸「畜産」の大躍進！

日頃は、本校畜産教育に多くのご支援・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。関係者の皆様に多大なるお力添えをいただき、今日の教育活動が行えているものと考え、心より感謝申し上げます。

さて、今年度畜産では、学習成果を発表する各種大会に積極的に挑戦しました。「365日の徹底した飼養管理」をテーマに掲げた家畜飼育と、課題解決に向けた日々の研究活動が功を奏し、「第4回農業アクション大賞（毎日新聞社主催）」にて「準大賞」を受賞。また、「第6回和牛甲子園（JA全農主催）」にて、取組評価部門「優良賞」を受賞することができました。農業アクション大賞では、「京都農芸から発信！『スマート農業』と『ゲノム解析』が変える農業の未来」と題した取り組みを発表。ICT機器の活用やゲノム解析といった先進的な技術を取り入れ、京都の酪農を100年先まで継承することを目指した研究を高く評価していただくことができました。また、和牛甲子園では「和牛でつなぐ地域の輪」チーム京都の挑戦」と題した取り組みを発表。チーム京都」と名付けた地域関連企業・団体等と取り組んだ「地域資源活用・クラウドファンディング・食育活動」を高く評価していただくことができました。

京都府唯一の畜産を学べる農業高校として、京都農芸が果たすべき役割は多くあると考えます。畜産を取り巻く情勢は日々変化し、大変困難な状況ではありますが、畜産教育に確固たる信念をもち、より一層精進して参ります。大変恐縮ではありますが、引き続きのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

な魅力を創造し、口丹通学園の人気校として、全国に農芸生の活躍が発信できる京都府の農業専門高校であり続けられるよう、取組を進めて参ります。教育後援会員の皆様には、本校教育の推進に、ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

以下、QRコードを
読み込んでいただくと
専用サイトに
アクセスできます



【農業アクション大賞】



【和牛甲子園】



令和4年度 農業クラブ活動報告

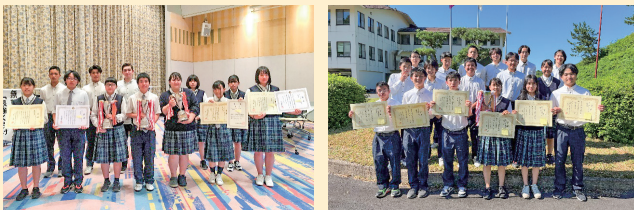
1. 第73回京都府学校農業クラブ連盟大会(ガレリアかめおか) 7月27日

《プロジェクト発表会》

分野	発表題
I類 最優秀	「スマート農業」と「ゲノム解析」が変える農業の未来! 畜産流通コース、動物資源コース
II類 優秀	農芸からの発信緑～郵便局から緑の風をお送りします～ 造園コース
III類 最優秀	「もったいない」から「ありがとう」へ～ロスフラワーからはじまる地域のわ～ 草花コース

《意見発表会》

分野	発表題	発表者
I類 最優秀	それならば 今ここで 僕らが 何かを 始めよう!!	佐々谷蓮太郎



〔府連大会〕

〔和牛審査競技会〕

III類 優秀	綴る ～京都の和牛ストーリー～	岸本 竣
---------	-----------------	------

《平板測量 競技会》〔北桑田高校〕7月22日

【優秀】白石 瑛樹、瀬川 登羽、濱邊 要雅

《和牛審査 競技会》〔碓高原牧場〕7月29日

【最優秀】加藤 佐和子

【優秀】平島 健陽、伴 藍花、山口 彰太、亀田 聖琳

《緑の学園乳牛審査の部》〔府立農業大学校〕8月5日

【最優秀】平島 健陽

2. 第70回近畿学校農業クラブ連盟大会(大阪府 リモート)8月24、25日

《プロジェクト発表会》

【最優秀】I類 畜産流通コース、動物資源コース

【最優秀】III類 草花コース

《意見発表会》

I類 佐々谷 蓮太郎

3. 第73回 日本学校農業クラブ全国大会(北陸3県)10月25～27日

《プロジェクト発表会》

I類 畜産流通コース、動物資源コース III類 草花コース

《農業鑑定競技会》

【優秀】園芸 原 大河



〔全国大会プロジェクト発表〕



〔全国大会農業鑑定競技〕

4. 第4回農業アクション大賞(東京都リモート)11月7日

〔準大賞〕「スマート農業」と「ゲノム解析」の普及・研究活動班

5. 各種資格試験に挑戦

●危険物取扱者試験(乙種第4類)(丙種) ●日本農業技術検定(3級)(2級) ●初級バイオ技術者認定試験 ●測量士補 ●3級室内園芸装飾技能士 ●日本語ワープロ検定試験・表計算・文章入力スピード検定 ●3級鉄筋施工技能士 ●2級造園技能士 ●3級造園技能士 ●2級造園施工管理技術検定 学科試験 ●2級土木施工管理技術検定 学科試験 ●トレース技能検定3級 ●刈払機取扱作業安全衛生教育 修了 ●フォークリフト(1t未満)の運転の業務に係る特別教育 修了 ●クレーン(5t未満)の運転の業務に係る特別教育 修了 ●小型車両系建設機械(整地等3t未満)運転の業務に係る特別教育 修了 ●ボイラー取扱技能講習 修了 ●ジュニア豆腐マイスター認定講座 修了

6. 今年度を振り返って

今年度は農業クラブ全国大会の発表系競技会に開校以来初めて出場することができました。40周年にNext Stageへ踏み出す節目となりました。

講習会や競技会、ボランティアなどリモート大会もありましたが、ほぼ実施されて生徒たちも熱心に取り組んできました。多くのことを学び成長できる環境を今後も全力で整えていきたいと考えています。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



膨大な量の資料作成や、畜産施設への来場者への防疫対策、誰もが同じ質で同じ内容の作業が出来るようになるための作業手順の作成・掲示などを行いました。今後は、農場HACCP認証の継続と全国に誇れる農芸鶏舎にするために、今回構築したシステムの継続と、畜産で作業する生徒・教員の飼養管理への知識・技術の維持・向上を目指し、取り組んでいきます。

12月には全国の農業高校の機関誌であるリーダーシップにも掲載して頂き、本校の取り組みを広く周知することもできました。

6月には、京都府知事と教育長へ表敬訪問を行い、12月には全国の農業高校の機関誌であるリーダーシップにも掲載して頂き、本校の取り組みを広く周知することもできました。

膨大な量の資料作成や、畜産施設への来場者への防疫対策、誰もが同じ質で同じ内容の作業が出来るようになるための作業手順の作成・掲示などを行いました。今後は、農場HACCP認証の継続と全国に誇れる農芸鶏舎にするために、今回構築したシステムの継続と、畜産で作業する生徒・教員の飼養管理への知識・技術の維持・向上を目指し、取り組んでいきます。

畜産流通コースでは、昨年度から関係機関の方にご指導して頂きながら、鶏舎での農場HACCP認証の指定を目指して活動し、今年度5月28日に全国の農業高校では3番目、西日本では初となる農場HACCP認証の指定を受けることができました。

HACCPは元々、安全な宇宙食を作るために開発されたもので、Hazard Analysis(危害分析)とCritical Control Point(重要管理点)の2つを組み合わせたもので、原料の入荷から出荷までの全ての工程において、あらかじめ危害を予測し、その危害を防止するための重要管理点を設定して継続的にモニタリングし、異常が発生した際には事前に決めていた方法で迅速に対応して、不良製品の出荷を未然に防ぐための手法です。この手法を畜産農場に取り入れたものが農場HACCP認証で、全国の畜産企業・農家をはじめ農業高校や大学校でも認証に向けて取り組みが進んでいます。

農場HACCP

部活動および

農業クラブ 専門委員会

硬式野球部

本校野球部は夏に行われる選手権大会に向けて1勝を目標に日々厳しい練習に取り組んでいます。本年度は、17年ぶりに選手権大会で1勝することができました。ひとえに皆様の御支援のおかげと感謝しております。3年生が引退し部員が6名となり、現在は連合チームで活動しております。



陸上競技部

陸上競技部(競技部門)は、3年生2名、2年生2名、1年生2名の6名で活動を行いました。陸上競技部(スポーツクライミング部門)は3年生1名、2年生6名で活動を行いました。4月春季大会で記録を残してきました。記録会に参加し、自らの弱点や課題を見つけ、トレーニングに励む1年だったと

サッカー部

思います。また、今年度からは、新たなトレーニングとして、外部施設のカメロックスで、スポーツクライミング競技に着手し、筋力増強と、肉体との対話を試みてきました。生徒の活動のためにも今後とも御支援のほどよろしくお願います。



平素より、サッカー部の活動に御理解御協力を賜り、心より御礼申し上げます。今年度当初は部員が5名からの立ち上げでしたが、新入生だけでなく2・3年生の新入部員を迎え、部員15人で選手権大会をはじめとする公式戦に単独チームとして出場することができました。また、3年生引退後、1月から開催されました新人大会にも単独チームとして出場することができました。昨年度は、部員不



パワーリフティング部

足により新人大会には出場することができませんでしたが、今年度、単独チームで出場できたことは、部員にとっても大きな経験となりました。来年度は、今年度の経験を活かし、公式戦で勝利することを目標に日々精進してまいります。農芸高校サッカー部では、サッカー選手としてだけでなく、たくましい人間として成長することも大切にしています。高校からサッカーを始めた部員が半数を占めますが、一人一人が成長するために努力をしています。「農芸高校のサッカー部はみんなよく頑張っている」そう思われる部活動を部員・顧問一丸となって目指します。今後ともサッカー部への御支援、御協力の程宜しくお願い申し上げます。



パワーリフティング部は現在、2年生8名と1年生2名で活動しています。今年度は、8月14日に埼玉県で第40回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会が開催され、男子93kg級に出場した2年生が第2位という優秀な成績を収めました。また、3月には高校選抜大会と、今年8月にルーマニアで行われる世界クラシックサブジュニア大会への出場権を争う選考大会が開催予定です。この2大会において高校生のトップ、そ



バスケットボール部

して世界で活躍する選手となることを目指して、日々練習に取り組んでいます。パワーリフティング部はこれからも「心優しき力持ち」として、ただの力持ちではなく、人としての成長を目指します。今後とも御支援の程、よろしくお願いたします。



教育後援会報第40号おめでとうございます。平素より大変お世話になりました。ありがとうございます。バスケットボール部は、3年生4名が引退した現在、男子部員1名、女子部員1名の2名で活動しております。本年度初めて女子部員が入部し、プレイヤーとして活動する意思を見せてくれました。何とか合同チームという形をとり、府立高大会、ウインターカップ予選、新人大会予選と出場することができました。男子も新人大会から合同チームとなり、公式戦に出場することができました。男女1名ずつの大変少ない人数で、毎日の練習すら



して世界で活躍する選手となることを目指して、日々練習に取り組んでいます。パワーリフティング部はこれからも「心優しき力持ち」として、ただの力持ちではなく、人としての成長を目指します。今後とも御支援の程、よろしくお願いたします。

おぼつかない状態ですが、応援してもらえ活動を目指して、メリハリのある活動を心がけています。今後ともよろしくお願いたします。

バドミントン部

高校からバドミントンを始める部員も多く、競技力の向上と大会での勝利を目指し、日々練習に励んでいます。しかし部員数も少なく、思うように活動ができていないのが現状です。5月に開催された第72回全国高等学校バドミントン選手権大会(個人戦)の京都府大会では、3年生1名が1回戦「勝利」を収めることができました。日々の努力の賜物であると考え、輝く一瞬に立ち会えたことを嬉しく思います。今後も「大会での一勝」を目標に練習に励んで参りますので、引き続きのご支援をよろしくお願いたします。

硬式テニス部

硬式テニス部は、現在部員が在籍しておらず、ほぼ活動ができない1年間となつてしまいました。ただ3年生の羽田君が、引退後時々テニスコートに足を運び、自主練習を行ってくれました。顧問としても、羽田君には是非卒業後もテニスを続けて欲しいと願っています。テニスは技術力もさることながら、精神力も鍛えられるメンタルスポーツです。来年度こそは、できるだけ多くの生徒を勧誘し、テニス部を盛り上げていきたいと考えておりますので、引き続きのご支援よろしくお願いたします。

卓球部

今年度の卓球部は1年生が1名所属しています。中学校では部活動経験者です。

基本技術の習得を目指し、練習しています。「1セット、1点でも多く取る」という気持ちで、春の公式戦に出場しました。活動日は、月曜日から木曜日までです。部活動だけでなく学習活動にも力を入れ、学業との両立を目指しています。今後も応援よろしくお願いたします。



剣道部

剣道部では、日々部員たちが稽古に取り組み、公式戦での初勝利を目標に頑張っています。段位取得にも積極的に取り組んでおり、今年度は1名の部員が高校生の最高段位となる三段を取得しました。来年度も1名、三段の審査を受ける予定の生徒もいます。例年、本校で他校の剣道部も来いただき夏季合宿を行っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年度は中止となりましたが、今年度は感染対策を徹底し、合宿を実施しました。たくさんの学校の生徒たちと剣を交えることで、心身共に鍛える機会となりました。人数が少ない中ですが、休日には他校の剣道部に出稽古や練習試合に行くなど、部員たちは、大会・昇段に向けて日々頑張っていますので、今後とも応援をよろしくお願いたします。



茶道部

現在3年生4名、1年生1名の計5名で、裏千家・西岡正代先生の御指導のもと、毎週水曜日の放課後に活動しています。お茶の作法とおもてなしの心を学ぶため、集中して稽古に取り組みるよう常に努力しています。今年度は農芸祭でお手前の披露を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。来年度は生徒のお稽古の成果を披露する機会があればと考えています。今後とも温かい御支援をお願い申し上げます。



合唱部

昨年に引き続き、マスクをして歌っていても大変です。一度の呼吸で十分に吸いきれず、息苦しいなか歌い続ける。舞台では表情も表現の一つですがマスクで隠れる。今は技術以前に思い通りにならないことが多く、つらいです。それでも、部員たちは歌が大好きです。亀岡高校は女子生徒が多く、農芸高校は男子生徒3人での合同合唱部です。貴重な男



草花部

草花部では授業で関わるのが少ない植物を栽培し、その活用方法に至るまで「草花と関わる経験」を積んでいます。今年度は2年生6名、1年生3名で活動してきました。昨年度より取り組んできたロスフラワーカーのハーバリウムは、京都のチョココレト店と連携し母の日の商品を全国に向けて販売することができました。この取組は草花コースの活動と合わせてプロジェクトとしてまとめる事ができました。また、今年度は花壇苗の栽培管理を部員のみで行い、責任を持って栽培した花苗で近隣の保育園や宿泊施設の花壇づくりを活用するなど対外的な活動も徐々に増やすことができました。草花に興味関心を持った部員で行く研修では大阪府の大型園芸店を視察し、販売と観光を融合させた新



しい草花の魅力発信について学ぶことができました。

草花部の活動にご支援いただいたことで、部員の関心をさらに刺激し農芸高校の専門部だからこそできる経験を積むことができています。今後ともよろしくお願いたします。

植物バイオ部

無菌操作による植物の増殖や、野外の動植物の調査を行っています。今年度は、ベチユカリやビンカなどの植物の育種に取り組んできました。次年度に向けて、また新しい花を咲かせていきたいと思えます。

畜産部

今年度もこれまでの活動を踏襲し、「365日欠かすことのない飼養管理」をテーマに活動してきましたが、コロナウイルスの影響は強く、今年度も共進会などの大会が行われず、3年生は一度も共進会を経験することなく卒業することになりました。

一方で、畜産部に所属する生徒を中心としたチームが、日々の管理で身につけた知識と牛への思いを胸に農業クラブのプロジェクト発表に取り組み、全国大会まで進みました。また、全国高校生農業アクション大賞でも準大賞を受賞しました。

昨年度から畜産部ではインスタグラムを開設しており、畜産部やコースの日々の活動と飼養している家畜たちを紹介しています。フォロワー数は約370に増えました。今後多くの方にフォローして頂き、畜産部の活動を積極的に広報していきます。

今後多くの方で活躍できるように精一杯取り組んでまいりますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願いたします。

野菜部

野菜部では、「おいしい野菜づくり」をテーマに活動しています。

5月には、カラーピーマンやトウガラシの栽培管理を行いました。9月下旬には、エダマメの収穫や調製、10月下旬には寮中庭の花壇でサツマイモを収穫しました。季節折々の野菜に触れ合い栽培をする楽しさを体験できたと感じています。

来年度の野菜部も、部員が楽しんで野菜栽培に取り組める環境を整えていきたいと考えていますので、引き続き御支援の程よろしくお願いたします。



造園部

造園部では、造園技能検定の取得と校内に植えられた樹木の剪定作業や実習場の管理、庭園施設の改修、補修、校内美化活動等を目標として日々、技術習得に取り組んでいます。

昨年に向けた管理を行えるよう、withコロナでできる限りの計画をしっかりと。屋外活動においてもマスクの着用を心がけ感染防止対策をとりながら活動を行いましたが、感染拡大第八波の上がり、下がりの余波を受けて、活動内容の縮小や調整を強いられ、例年以上の取組みがごまでやり切れ



おいしい庭の手入れ作業

るのが分からない状況でした。

昨年度の活動をベースにひとつ一つの管理作業に完成目標を設定しました。まずは、校内の環境整備からはじめ、次に地域のボランティア活動に携わり、近隣寺院の庭園管理や作庭した庭園の手入れを完了することを順に行いました。本年度は2年生が主軸に1年生に剪定の方法や作業工程等、これまで教わった剪定の技術を後輩たちに受け伝える機会になりました。校内では「おいしい庭」の中高木の管理剪定を行い、校内美化に努めました。高所作業の段取りと剪定を通じて先輩、後輩間の繋がりをつくるきっかけとなりました。また、先輩の剪定作業を観ながら低木や高木など樹形に応じた剪定方法を学ぶことができたようです。さらに作業上の安全性を見極め、危険を回避する判断力や推測する力を育むきっかけにもなったのではないかと思います。

また、広島県で開催された「若者ものづくり競技会」には、京都府代表選手として出場しました。毎年連続出場を果たしています。競技内容は、平面図を的確に読み取り、決められた空間に計画通りの造園課題のディテールに造り上げるものです。石積みや張り石、植栽の配置から自ら計画した自由課題を製作するまで、全てを確実に仕上げる技術が求められます。選手達はこれまでに積み上げてきた技術を最大限に発揮し、さらにその上に挑戦する全国大会となりました。ご声援ありがとうございました。

環境部

環境部では今年度も農業クラブ平板測量競技会に向けての活動、校内環境の整備や専門的な資格取得に取り組みました。7月22日(金)に平板測量競技会の京都府大会が北桑田高校で実施され、本校

からは3年生1チームが出場し、大会まで練習・研究を重ねた結果、優秀賞を獲得することができました。

橋梁模型製作コンテストへの出品は、今年度もコロナ禍の影響により見送ることとなりました。資格取得については、2級・3級鉄筋技能検定の合格を目指し、コツコツと練習に取り組みました。競技会、校内環境整備や資格取得の取り組みを通し、この1年で専門性を高めることができました。



情報処理部

今年度の情報処理部は、1年生3名の新入部員が加わり、2年生8名、3年生6名を合わせ17名で活動してきました。3年生が新入生オリエンテーションでパワーポイントをを使った紹介や情報処理の資格の有用性を説明し、1年生が入部してくれました。

ワープロや表計算のスキルアップや検定試験に向けた練習、昨年度より開始した南丹広域振興局と連携したインスタグラム(アカウント名:農芸太郎)による本校や京都丹波の魅力発信も行っていきます。



教育後援会 事業及び会計報告

令和3年度 教育後援会 事業報告

Table with 4 columns: 月, 日, 事業名, 内容. Lists activities from April to March.

令和3年度 会計決算

収入総額 1,053,046円 - 支出総額 1,041,099円 = 差引残額 11,947円 (次年度へ繰越)

収入の部

単位(円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 決算額, 比較増減, 備考. Lists income items like 繰越金, 会費, 寄附金, etc.

支出の部

単位(円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 決算額, 比較増減, 備考. Lists expense items like 事務費, 会議費, 渉外費, etc.

令和3年度 特別積立金報告

単位(円)

Table with 6 columns: 科目, 繰越額(a), 本年度積立額(b), ※寄付(c), 利子・満期利子・解約による利子減額分(d), 積立金合計(a)+(b)+(c)-(d), 備考. Reports on special reserve funds.

令和4年度 教育後援会 事業計画

Table with 4 columns: 月, 日, 事業名, 内容. Lists planned activities for the next year.

創立40周年記念事業

Table with 3 columns: 月日, 事業名, 内容. Details the 40th anniversary event.

奨学金制度等検討WG

Table with 3 columns: 月日, 事業名, 内容. Details the scholarship committee work.

令和4年度 会計予算

収入の部

単位(円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額(a), 前年度予算額(b), 増減(a)-(b), 備考. Lists budgeted income items.

支出の部

単位(円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額(a), 前年度予算額(b), 増減(a)-(b), 備考. Lists budgeted expense items.

令和4年度 特別積立金会計予算

単位(円)

Table with 5 columns: 科目, 繰越額, 本年度積立額, 積立金合計, 備考. Budgets for special reserve funds.

令和4年度 3年生進路決定状況

令和5年1月31日現在

I. 進路希望状況

学 科	就 職	進 学	未 定	合 計
農業生産科	10	17	0	27
(男子)	10	12	0	22
(女子)	0	5	0	5
園芸技術科	11	7	0	18
(男子)	9	6	0	15
(女子)	2	1	0	3
環境創造科	8	10	0	18
(男子)	7	9	0	16
(女子)	1	1	0	2
合 計	29	34	0	63

II. 就職内定状況

内定者実数 *下記企業名は順不同

学 科	農・建設・造園	製 造	運輸・通信	卸・小売	サービス	福 祉	公務員 他	合 計
農業生産科	0	5	0	1	2	1	0	9
園芸技術科	0	7	1	0	3	0	0	11
環境創造科	4	1	0	1	1	0	1	8
合 計	4	13	1	2	6	1	1	28

- 【農・建設・造園】 住友林業ホームエンジニアリング株式会社京阪神事業部、株式会社ムツミ、株式会社増田組 近畿ニチレキ工事株式会社京都営業所
- 【製 造】 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社《2名》、京都エレクロン株式会社《3名》、佐川印刷株式会社、ユニチカ株式会社宇治事業所、大成化工株式会社、能勢大成化工株式会社、ケイコン株式会社、株式会社もり(京つけものり)、株式会社伊賀屋食品工業、株式会社ラ・モード

- 【運輸・通信】 株式会社五健堂
- 【卸・小売】 京都食肉市場株式会社、株式会社スズキ自販京都
- 【福 祉】 医療法人清仁会亀岡シミズ病院
- 【サ ー ビ ス】 西日本高速道路メンテナンス関西株式会社、株式会社共立メンテナンス、株式会社全日警大阪支社、株式会社渡月亭、有限会社溪山閣、株式会社フクナガ
- 【公務員 他】 東大阪市(事務)、南丹市役所(土木)

III. 進学合格状況

延べ人数 *下記学校名は順不同

学 科	国公立大学	私立大学	短期大学	農業大学校	専修各種学校	合計
農業生産科	0	8	1	1	8	18
園芸技術科	0	5	0	0	2	7
環境創造科	0	2	0	0	8	10
合 計	0	15	1	1	18	35

- 【私立大学】 龍谷大学(農学部)、京都文教大学(総合社会学部)、京都精華大学(国際文化学部《2名》)、京都先端科学大学(経済経営学部)(バイオ環境学部《2名》)、花園大学(社会福祉学部《2名》)、酪農学園大学(食農環境学科群《5名》)、関西国際大学(経営学部)
- 【公立短期大学】 静岡県立農林環境専門職短期大学

- 【専修各種学校】 京都建築大学校《2名》、修成建設専門学校、京都コンピュータ学院《2名》、京都医療福祉専門学校、京都保育福祉専門学院、YIC京都ビューティー専門学校、京都ホテル観光ブライダル専門学校《2名》、京都府立農業大学校、福知山高等技術専門学校、京都芸術デザイン専門学校、テクノホテルティ園芸専門学校、大坂動植物海洋専門学校、大阪ECO動物海洋専門学校、大阪保健福祉専門学校、関西美容専門学校、名古屋モード学園



台湾国立曾文高級農工職業学校とのWeb交流会

コロナ前に台湾研修で訪問していた学校と12月20日(火)にWeb交流会を行いました。それぞれの自己紹介のあと、台湾や日本で流行している音楽やスイーツの話題など、高校生らしい質問が飛び交い、Web上ではありましたが、十分に盛り上がりました。参加した生徒たちは、台湾の同年代の生徒たちと英語で交流することができ、とても楽しかった!と充実した時間を過ごせました。

会費及び寄附金についてのお願い

本会は、在校生・在職教職員の会費と、卒業生・卒業生保護者の会費、一般会員の寄附金(1口1,000円)で運営されています。出費多端の折、誠に恐縮に存じますが、御理解の上、御支援、御協力いただきますようお願い申し上げます。

- 一般会員寄附金 1口 1,000円
- 在校生・在職教職員会費 年 500円
- 卒業生・卒業生保護者会費 5,000円・3,000円(卒業時に納入)

※京都府立農芸高等学校教育後援会振替口座番号(京都 01080-11-9234)
なお本会への寄附とは別に、下記のような農芸高校に対する寄附事業もあります。
[母校応援ふるさと事業]
「ふるさと納税制度」を活用した事業で、各校が支援を必要とする事業を掲げ、寄附を募っています。寄附額に応じて所得税・住民税が控除されます。詳細は学校HP(卒業生の皆様へ)をご覧ください。

創立40周年記念式典

12月3日(土)、農芸高校創立40周年記念式典を挙行了いたしました。

式典では、実行委員長あいさつ、校長式辞のあと、府教育委員会からご祝辞を賜り、生徒会長による「生徒代表のことば」では、これまでの感謝の言葉とともに、今後も歴史と伝統を受け継ぎ、農芸高校の新しい歴史を刻んでいく決意を力強く述べました。また、南丹市長をはじめ多くの来賓にもご参加いただきました。

その後の記念講演では、京都府立大学の塚本康浩学長に「失敗だらけのダチョウ学」と題して講演いただき、ダチョウの生態や抗体の研究について興味深くお話をされ、式典に花を添えていただきました。

これまで教育後援会の皆様には、創立40周年記念事業に際し、ご協力いただきありがとうございました。今後も更なる発展に向けてご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

